

圏外のアンテナ

[財布のダイエット]の巻

長財布、今風に言えば、ウォレット。

そのウォレットのデザイナーをしている友人の話では、このところ、カード入れの少ない財布の売れ行きは、ガタ落ちだと言う。皆、増殖するキャッシュカードやポイントカードの収納に困っているのだ。

果たして、わたしの財布も、カードでトランプ遊びができそうな程の、すし詰め状態。そこで、スタンプカードのダイエットを強行。勢い付いて、出番の減ったJ社のクレジットカードも整理する事にした。

ハンコだ何だと、面倒な手続きがいるのかな？と思いきや、解約はほんの3～4分の電話で終了。

「カードはハサミで切って処分して下さい。長い間のご利用、ありがとうございます」という先方の締め言葉に、改めてカードの表面を見ると、1982という数字の刻印が。ああ～まさしく積年のご愛顧じゃないか！

そうだ、新卒での入社式の当日、「当社のJカードの割り当ては3人です！」と総務の社員からの呼びかけがあり、じゃんけんに勝ち残って作ったカードだった。当時は、会社からの推薦がないと、カードの承認が下りるのに時間が掛かったんだっけ。そんなリアルな光景が、じわじわとよみがえる。

うっかり残高不足を続けて、「入金忘れたあ？あんた先月も、そう言ったじゃねえかあっ！」と、やくざ風味の督促電話を受けた事も、今となっては懐かしい。

わたしにとってクレジットカードは、買い物をしたとたん押し寄せてくる自己嫌悪から救ってくれる、心のお助けマンでもあった。

もちろん、枚数は少ないに越した事はない。「フランス人は10着しか服を持たない」というベストセラーにならって、10枚位のカードで風通しよく暮らしたら、さぞ快適だろう。

と言っているそばから、今日もまた、靴のかかをとを直しに行って、新しいポイントカードを作ってしまった。

=2016年2月16日掲載=



出番の減ったクレジットカードを思い切って解約